

# 全日本少年少女けん玉道選手権大会出場枠について

競技会推進委員会

2026年度開催の第38回全日本少年少女けん玉道選手権大会は下記に示した地区代表選手男女各16名にて大会を実施します。

## 記

### 第38回全日本少年少女けん玉道選手権大会出場枠

ブロック		男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森、岩手、宮城、福島、秋田、山形	2	2
関東	東京、千葉、埼玉、神奈川、群馬、栃木、茨城、山梨	2	2
北信越	石川、富山、福井、新潟、長野	1	1
東海	静岡、愛知、岐阜、三重	3	2
関西	京都、滋賀、兵庫、大阪、奈良、和歌山	2	3
中国	岡山、鳥取、広島、山口、島根	2	2
四国	香川、徳島、高知、愛媛	1	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

2026年2月8日(日)に開催された第12回日本けん玉協会ジュニア杯争奪戦に出場した小学5年生以下の選手の中で最上位を取得した男子(東海)及び女子(関西)が在籍する地区にそれぞれ1名増枠することが承認されました。

各地区大会で選出される代表選手の振り分け数は各ブロックに委任します。すなわち、従来と同様に地区を細分割して(例えば東北地区の場合、東東北地区と西東北地区)代表選考を実施、あるいは地区全体で代表選考会を実施して代表を決定してもよい。但し、第2代表を決定する場合は2023年度に実施した方法を用いること\*。

開催される地区大会には全ての都道府県が重複することなく含まれること。

以上

### \*参考

第1代表：トーナメント優勝者

第2代表：決勝戦敗退者と準決勝敗退者同士の対戦での勝者との間で代表決定戦を行う。但し準決勝敗退者同士の勝者が決勝敗退者と準決勝で対戦していた

場合は対戦を行わず決勝戦敗者を第 2 代表とする（ここでは準優勝、3 位との文言を使用しない）。

